

はやくも 3 月。今年は寒波が厳しく、なかなか春の声が聞こえません。それでも学年末考査、卒業式と学校は年度末の一番慌しくも総括と次の希望にみちた行事が続きます。経済では、アベノミックスが話題となっています。中学 3 年の公民の授業で「本当に物価があがるんですか」と真剣に生徒に聞かれたという先生の声の声を聞きました。教員だけでなく、生徒にも関心をもたれている動きなんですね。さて、今月のメルマガでも、先生方の力になるような情報提供や活動の情報を報告いたします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

2 月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■札幌部会 (No.6) を開催しました。

日時：2013 年 2 月 2 日 (土) 14 時 30 分～16 時 30 分

場所：キャリアバンク セミナールーム (Sapporo55 ビル 5 階)

概要：参加 15 名。野間先生 (同志社大) より、年次大会、夏休み経済教室、ワークショップについて報告がありました。また、山崎先生 (豊富高) より 2 月 8 日の実践授業、9 日の WS の確認が行われました。

次いで、参加の各先生より以下の実践報告と討論がありました。①志田先生 (千歳北陽高) 「アルバイトから考える労働法教育実践」、②竹内先生 (浦川第一中) 「今日は『金融』の学習」、③松澤先生 (札幌藻岩高) 「国際経済の指導」、④兼間先生 (札幌平岡中)、1 月 28 日の北海道新聞朝刊に掲載された「『需要と供給』記事で学ぶ」の授業、および「最近の公立学校入試問題の傾向について」の資料を基にした経済の高校入試問題について説明、⑤川瀬先生 (札幌開成高) 「『ゲームブック 君ならどうする食糧問題』(M・アラビー) を使った実践」の 5 本の実践です。

最後に、平岡先生 (札幌大谷大)、濱地先生 (北教大札幌)、清水先生 (札幌平岡中央中)、中村先生 (札幌光星高) より各種報告がありました。

内容の詳細については、以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo006report.pdf>

#### ■WS 稚内は延期となりました

2月9日(土)に予定されていたWS 稚内は、荒天の影響で講師が会場まで移動できず延期となりました。

#### ■東京部会 (No.56) を開催しました

日時：2013年2月15日(金) 19:00~21:30

場所：日本大学経済学部7号館10回7015教室

概要：出席者11名。まず、大川先生(川口里中)から16日のWS 川口の最終確認が行われました。篠原代表からは、延期になったAS 稚内の事情の報告を受けました。同WSは3月8日、9日に内容同一で実施予定。あわせて、札幌部会の様子、研究集会の企画など活発に活動を行っていることが報告されました。次いで、夏休み経済教室の内容のつめを行いました。

実践報告は次の通りです。①高橋先生(桜修館中等)から、先日桜修館中等教育学校で行われた加藤一誠先生の公開授業「幸せの人生を経済しよう」が当日配布された授業資料とともに報告されました。②宮崎先生(都立蒲田高)から、厚生労働省がすすめようとしている社会保障教育に関する報告を受け討論を行いました。③高橋先生(桜修館中等)から、1月の東京部会で試案をだされていた法と経済をテーマにした二つの授業、マンション建設を巡る事例、最低賃金と法と経済の実践報告がありました。また、あらたに経済政策を提言しようという授業案も配付されましたが、時間がなくこちらの討論は持ち越しとなりました。

内容の詳細は、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo056report.pdf>

#### ■WS 川口里中学を開催しました

日時：2013年2月16日(土) 13:30~16:30

場所：埼玉県川口市立里中学校図書室

概要：出席者45名。主催者挨拶のあと、升野伸子先生(筑波大学附属中)から「生産のしくみー生産活動のしくみの理解を通して、利潤や賃金等の公正について考えるー」がありました。参加の先生がたは生徒になって升野先生の間で答えながらの授業提案となりました。

休憩のあと、篠原代表(同志社大)の「経済教育で生徒は何を学ぶかー中学校公民分野における経済教育のすすめ方ー」の講義がありました。現在の中学教科書の問題点を確認したうえで、伝えるべきことは経済の仕組みであり、そのエッセンスは「分業と交換」にあることを強調されました。また、具体的な教材として「建築会社シミュレーション」を紹介され、そのなかにある経済の循環図の理解が教える側にとってキーポイントになることが紹介されました。

最後に、今後もこの種のWSを継続すること、また、自主的な勉強会の提案などがなされて、盛況のうちに終了しました。

なお、参加の先生方に、里中学の総合学習(プロジェクト・シブサワ)で生徒が提案し、商品化された「さっ栗サンド」が提供されました。

内容の詳細は、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/ws/WS20130216%20Kawaguchi.pdf>

■大阪部会（No.32）を開催しました

日時：2013年2月23日（土）18：00～20：15

場所：同志社大学大阪サテライトキャンパス

概要：出席者10名。(1)まず、篠原代表（同志社大）から、最近の活動内容および今後の予定が報告されました。また、この間の活動報告がされました。野間先生（同志社大）から札幌部会の報告などが行われました。

実践報告は次の通りです。①東京部会で報告された高橋先生の授業提案「最低賃金制度を法と市場経済で考える」及び、加藤先生が桜修館で行った講演「幸せの人生を”経済しよう”－社会に参加する君たちへ」の紹介。②谷正博先生（寝屋川市立中木田中）から「価格の決定」の授業指導案の紹介（実際の授業者は寝屋川市立第十中浅野哲司先生）。③吉田英文先生（生野高）から、弁護士を教室にまねいて実施された「とっておきの授業」の経過及び結果報告がありました。

内容の詳細は、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka32report.pdf>

---

【 2 】 イベントカレンダー

---

これからの主な予定を日程順に掲載します。

■京都部会（No.18）を開催します

日時：2013年3月8日（金）19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto018flyer.pdf>

■延期されたWS 稚内を開催します

日時：2013年3月9日（土） 13時50分～16時50分

場所：稚内北星学園大学 本館3階小教室

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。なお、8日金曜日は北海道豊富高校で授業公開があります。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/WS%20Wakkanai.20130309R.pdf>

■年次大会を開催します

日時：2013年3月23日（土） 13時30分～16時30分

場所：同志社大学寒梅館

内容：経済教育と法教育の対話その2

コーディネーター 中川雅之先生

問題提起者：経済学から安藤至大先生（日本大学）、法学から野川忍先生（明治大学）高校から吉田英文先生、関本祐希先生

参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/20130323symposium%20flyer%200125.pdf>

#### ■4月以降の予定

##### (1) 東京部会 (No.57)を開催します

日時：2013年4月中旬 19時00分～21時00分

場所：未定

参加方法など詳細は決まり次第 HP に掲載します。

##### (2) 大阪部会 (No.33)を開催します

日時：2013年4月27日(土) 18時00分～20時00分

場所：未定

参加方法など詳細は決まり次第 HP に掲載します。

##### (3) 札幌部会 (No.7)を開催します

日時：2013年5月18日(土) 14時30分～17時00分

場所：会議・研修施設 ACU [ アキュ ]

札幌市中央区北4西5 アスティ 45 12F,16F

参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo007flyerRvsd.pdf>

#### ■提携の団体の活動

第30回記念大会：授業のネタ研究会 in 関西

日時：2013年3月23日(土)～24日(日)

会場：弁天町市民学習センター

参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/30th%20KinenTaikai.pdf>

#### ■夏休み経済教室の準備が進行しています

2013年8月1, 2日 名古屋 (ウイंकあいち)

同 8月5, 6日 大阪 (天満橋・国民会館)

同 8月8, 9日 福岡 (天神ビル)

同 8月12, 13日 東京高校 (東証)

同 8月19, 20日 東京中学 (東証)

内容検討の最終段階になっています。教科書を読み解くシリーズ、歴史を経済で読む、エコノミストと現場教師とのコラボなど、これまで以上に先生方にとって役立つような内容を目指しています。なお、

名古屋地区は8月1日は高校、2日を中学向けとする予定です。大阪では5日は中学、6日には高校向けの内容とする予定です。福岡は12日中学、13日は高校向けの内容の予定です。

内容では、講演に真壁昭夫先生（信州大）、講義に小巻先生（日本大）、野間先生（同志社大）、篠原代表（同志社大）など、これまでに決まった講師陣とテーマにプラスして、学者と現場教員との連携プログラムのテーマとして社会保障を検討することになっています。また、行動経済学に関する講義も計画されています。

---

### 【 3 】 授業のヒント

---

「マグネットシートを使う」

今回は内容ではなく、ちょっとしたテクニックです。

川口のWSでの升野先生の提案を拝見して、これは使えると思った発見がありました。それはマグネットシートを使って企業の売上げの構図を示したやり方です。全体の売上げのなかから、原料費、人件費などを色違いのマグネットシートで長方形をつくりそれを横に組み合わせてゆく方法です。これだと工夫してコストを下げたり、売上げを伸ばした時にシートを重ねたり、加えたりして動きが黒板の上で実演ができます。

一番納得したのは、機械の減価償却を理解させようとした時です。機械購入の全費用を白い模造紙で大きく四角に切り、その一部がその時の売上げのなかの当期分の費用であるというのが、マグネットシートと模造紙で手に取るようにわかります。もちろん、パワーポイントなどで動画を作ってもよいかもしれませんが、マグネットシート方式だと手作業感があり、実感的に理解できる感じが持てます。このやり方だと国民所得計算の図の説明などにも使えそうです。

10センチ×30センチ大で150円程度で購入できるようです。電子化もよいけれど手作りの授業のあたたかさも捨てがたいものがあります。（新井）

---

### 【 4 】 編集後記（みみずのたはこと）

---

先日、中学校で休業中の先生のかわりに非常勤講師をやっている若い先生と話をしました。やんちゃな生徒が多く、先生たちはその対応で大変と言う話から、授業準備がなかなかできなくて指導書にたよってしまうんですねと、大学院を出た彼の彼は恥ずかしそうに話をしていました。たしかに今現場の先生方は本当に多忙です。そのなかで創意と工夫をした授業づくりが大事といっても限界があることがよくわかりました。そこで必要なのは、使える指導書ということになりそうです。現在の中学の指導書はかなり工夫がされていますが、まだまだ改善の余地はありそうです。ネットワークで蓄積したノウハウが指導書づくりに生かされる場があってもよいかもしれません。（新井）